

親の介護が必要になったときの
家計とくらしを考える。



「介護・お金・くらし」

親の介護は誰もが気にかかります。介護保険制度施行から約10年で環境は大きく変わってきましたが、依然として私たちの不安は解消されていません。親の介護が必要になったとき、どれだけのお金が必要で、また、家族のくらしにはどのような影響があるのでしょうか。本講演会では、費用面を軸に、家族は介護にどのように向き合っていけばよいのか、多角的に論じていただきます。

最新調査からみる
要介護者のいる世帯のくらしとお金

山田篤裕 慶應義塾大学経済学部教授

遠距離介護を取り巻くお金

太田差恵子 介護・暮らしジャーナリスト

2012年11月26日(月) 14:00~16:00 【入場無料】

- 会場：学士会館(210号室) ■住所：東京都千代田区神田錦町3-28
■最寄り駅：「神保町」駅から徒歩1分／「竹橋」駅から徒歩5分

お申し込み方法

- 参加希望者全員のお名前(ふりがな)、ご住所を明記の上、Eメール、FAXまたは郵便はがきでお申し込みください。後日、入場整理券をお送りいたします。
※個人情報は当講演会の開催以外の目的には使用いたしません。
- 定員：200名(お申し込み先着順)

お申し込み・お問い合わせ先

- 〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-7 前川九段ビル3階
公益財団法人 家計経済研究所 第48回公開講演会係
- TEL 03-3221-7291 ●FAX 03-3221-7255
- Eメール info@kakeiken.or.jp
- URL <http://www.kakeiken.or.jp>

第48回 公開講演会

講師のご紹介

最新調査からみる 要介護者のいる世帯のくらしとお金

山田篤裕 慶應義塾大学経済学部教授

■ プロフィール ■

慶應義塾大学大学院修了。博士（経済学）。
国立社会保障・人口問題研究所研究員、経済協力開発機構（OECD）
エコノミストを経て、現在、慶應義塾大学経済学部教授。
専門は社会政策論、労働経済学。
高齢期の所得保障や低所得者の実態に関する実証研究を行っている。

遠距離介護を取り巻くお金

太田差恵子

介護・暮らしジャーナリスト/パオッコ理事長/AFP

■ プロフィール ■

2012年立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。
高齢化社会における「暮らし」と「高齢者支援」の2つの視点から
新しい切り口で新聞・雑誌などでコラム執筆、講演活動等を行う。
1996年「離れて暮らす親のケアを考える会パオッコ」を立ち上げ、
2005年5月NPO法人化した。現理事長。

『遠距離介護』（岩波書店）
〔著書〕 『老親介護とお金』（アスキー新書）
『故郷の親が老いたとき』（中央法規）など

■ 会場のご案内

学士会館（210号室）

東京都千代田区神田錦町3-28
地下鉄都営三田線・新宿線
東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅A9出口から徒歩1分
東京メトロ東西線
「竹橋」駅3a出口から徒歩5分

